## 経営者からのメッセージ

取締役会長　蛇川 忠暉　　取締役社長　近藤 詔治

2005年3月期の売上高は、国内環境規制の影響が大きかった前期の反動減はあったものの、海外事業を中心に販売台数が増加したことにより、1兆1,301億円と前期に比べ7.5%、785億14百万円の増収となり、過去最高を更新しました。国内市場では大幅なシェアアップを実現し、大型・中型を合わせたカテゴリーでは、1973年以来32年連続のNo.1を堅持しました。また、車種別にみると、大型トラックで32.5%、小型トラックが13.5%と過去最高を記録しました。

しかしながら、営業利益は前期比14.0%、62億30百万円の減益となる383億36百万円となりました。これは、北米での専用車現地組立開始やタイでのトヨタIMV向けのユニット現地生産開始等の海外新事業展開、新製品・新技術の開発および品質向上など、次なる成長に向けた投資によるものです。当期純利益では、固定資産の減損会計の早期適用を実施したことにより、前期比48.1%、163億50百万円の減益となる176億72百万円となりました。

日野自動車は今、「日本の日野から、世界のHINOへ」をめざす姿として、大きく飛躍する変革の時にあります。このめざす姿を実現するための2つの柱が、「グローバル日野ブランドの確立」「トヨタ事業のグローバル展開の推進」です。その基盤固めとして、技術開発力、商品開発力、製造力・販売力のさらなる充実を図っております。

今後、積極的な日野ブランド事業のグローバル化を加速させることにより、世界中でお客様のお役に立つことが、私たちの想いです。同時に、トヨタグループのユニットサプライヤーとしてグループのグローバル展開の一翼を担ってまいります。

2005年7月

蛇川忠暉

取締役会長　蛇川 忠暉

近藤詔治

取締役社長　近藤 詔治